

スマートフォン、携帯電話についてのお願い

大阪市立今川小学校 校長 吉川 秀樹

最近、スマートフォンを使った犯罪が増えています。スマートフォンを持つ子どもも増えており、知らないうちに人の人権を傷つけていたり、犯罪に巻き込まれたりすることを防ぎたいと考えております。子どもたちの人権を守るために、今一度、家族で使用のルールをご確認ください。

【1】「プライバシー侵害・個人情報の流出」

むやみやたらと撮影したものをSNS等に投稿したりすると、肖像権や他人のプライバシーを侵害してしまうことがあります。

画像を撮影する際に、設定によっては位置情報を含んでしまうことがあるため、意図せず自宅やよく行く場所などを見す知らずの人に教えてしまうことがあります。

また、設定をっていても、画像内に載っている風景（店名、電柱、信号機、マンション名等）や、服装（制服、私服等）、持ち物（携帯カバー等）などから個人を特定されてしまうこともあります。

一度、インターネットに投稿した画像や情報は完全に消去することはできません。

危険例

- 何気なく投稿した内容に、他人の個人情報が写りこんでしまっていた
- 無料動画配信サービスで自宅から動画配信をしたら、自宅を特定されてストーカー被害に遭った
- 学校での出来事を投稿したら、制服から学校を特定され、学校前で待ち伏せされた
- 普段の生活風景を撮影し投稿したら、映り込んだ電柱や店名から自宅を特定された

気を付けるポイント

- 他人の個人情報が写っていないか確認する
- 画像から自分の個人情報がわかつてしまう内容でないか確認する
- 信頼できる人にしか閲覧できない設定にする
- リアルタイムに投稿すべき内容かよく考える
- なりすまし等の悪ふざけを絶対にしない

【2】「いじめ・トラブル・スマホ依存」

正しく使えばとても利便性の高いSNSですが、一方では、本来なら直接相手に伝えるべきこともSNSで簡単に済ませてしまうこともあるほか、面と向かってならば言えないような酷いことを容易に書き込んでしまい、「いじめ」や「トラブル」に発展してしまうこともあります。

今やSNSは、子どもたちの主要なコミュニケーションツールのひとつであり、リアルタイムでやり取りができるという利便性などから、ここ数年で急速な広がりを見せました。

その結果、昼夜問わずそれにのめり込んでしまい、昼夜逆転の生活になってしまう子どもや、不登校になってしまふ子どもも出てきています。

危険例

- オンラインゲームにはまり、オンライン先の相手にプレイ時間を合わせて不登校になる
- スマートフォンを常に携帯し、すぐに返信しないと気が済まなくなる
- SNS で誰かとつながっていないと不安になる
- 深夜までスマートフォンに熱中して、眠れなくなる
- 勉強に集中できなくなる

気を付けるポイント

- 使用する時間を、「何時まで」「何時間まで」、といった具体的なルールを決める
- 相手とのやり取りを終了するときの言い方やタイミングを保護者に相談する
- 自身と相手の健康や生活を最優先に考えて、本当にその時必要な連絡か考える
(食事の時間や睡眠時間を割いてまでする必要がある連絡か考える)
- **「ウザイ」「殺す」「死ね」などの人権侵害の言葉を使わない。**

ペアレンタルコントロールの重要性

※ 「ペアレンタルコントロール」とは ・・・ 保護者による管理

色々な家電製品をスマートフォンで操作できる、いわゆる「IOT」も普及し、今やインターネットは私たちの日常生活に深くかかわるようになりました。今やインターネット端末の普及に伴って、「SNS でのトラブル」「有料ゲームの高額請求」など、私たちが子どもの頃にはなかった新しい問題も生じています。

また、端末を手放せない「ネット依存」などの問題も指摘されています。

インターネットは、正しい使い方をすればとても便利なものです。最近では、インターネットに起因する様々なトラブルや犯罪被害などがニュースに取り上げられており、正しい使い方を管理する必要性が求められています。

保護者が想像する以上に子どもはインターネット端末の使い方を知っています。

しかし、使い方を知っているだけで、正しい使い方を学んでいるわけではありません。

ここでは、保護者が具体的にすべき「ペアレンタルコントロール」について説明します。

フィルタリングの管理

インターネットの危険性から子どもを守るために有効な手立ての一つにフィルタリングがあります。ゲーム機や携帯音楽プレーヤーにもフィルタリング設定ができます。取扱説明書やホームページの案内をよく見て、フィルタリングを設定しましょう。

また、保護者が使っていたスマホなどを子どもに貸し与える場合は、販売店でフィルタリングサービスを受ける手続き又はフィルタリングアプリを活用しましょう。

子どもにせがまれたからといって、安易にフィルタリングの解除に同意しないでください。

インターネット端末を使わせないのではなく、正しく使わせるための設定です。子どもにせがまれても絶対に解除しないようにしましょう。解除に当たっては、子どもの年齢に応じて、段階的に検討していくようにしましょう。

利用状況の管理

子どもがどんなアプリを使っているのか、SNSで誰とどんな交流をしているのか等の利用状況をきちんと把握し、利用時間の制限や、課金管理などができる各種管理機能を有効に活用しましょう。

機種の使い方や設定方法については、機種ごとに異なりますので、メーカーや販売店に問い合わせるか、取扱説明書などで確認してください。

暗証番号等は保護者が管理し、保護者の承諾なしではアプリをインストールしたり、機能制限を解除したりできないようにしましょう。

子どもが知る必要のない情報については、保護者がしっかりと管理することが大切です。

また、個人情報について話し合い、自分の情報、他人の情報に関わらず、個人が特定できるような内容をインターネットに載せないことを確認しましょう。

ネットの情報は、世界中の誰が見ているか分かりません。

意に沿わない形で情報が悪用されることがあり、犯罪やトラブルに巻き込まれる原因にもなります。

ルールの管理

まずは子どもに、自分が今使っているスマホ等のインターネット機器は、「保護者から借りているもの」だということを理解させましょう。

子どもと話し合ってルールを作り、そのルールが守られているかを定期的に確認するなど、子どもがインターネットを正しく利用できるように導きましょう。

保護者の導きによって、子どもが納得して、自発的に決めたルールを、子ども自身が守っていけることが最も大切です。

一方的にルールを決めつけるのではなく、

- インターネットには悪い情報もたくさんある
- あなたに不適切な情報を見てほしくないからリビング等の私たちの目が届くところで安全に使ってほしい
- 連絡を取ることは大切だけど、相手の予定や都合も考えて連絡しないと、相手に迷惑が掛かってしまうかもしれない
- 食事の時間はあなたが家族と過ごす大切な時間で、睡眠時間はあなたが元気に過ごすための大切な時間だから、その時間はスマホから離れてほしい

など、具体的な場面を思い浮かべながら、子どもの納得がいくように説得してみましょう。一般常識と健康管理の大切さも含め、子どもと一緒にどのように端末を利用すべきかルールを考えることが大切なのです。今までの話を踏まえて、ルールの例をいくつか挙げていきます。

【ルール例】

- ① スマホ等は保護者からの借りもの！
- ② 使用時間は〇時から〇時まで！
- ③ 自分の部屋には持ち込まない！
- ④ ルールを守らなければ使用禁止！
- ⑤ アプリのインストールは保護者の権限！
- ⑥ パスワードは、保護者が管理！
- ⑦ 個人情報は書き込まない！
- ⑧ 人を傷つける書き込みをしない！
- ⑨ 困ったらすぐに保護者に相談する！
- ⑩ ネットの中の友だちとは絶対に会わない！



等が挙げられます。

このようなルールを、子どもとよく話し合って決めていき、子ども自身の「悪いことはしない」と思う心（規範意識）を育てていきましょう。

しかし、子どもも納得した上で決めたルールでも、時間が経つにつれ形骸化してしまうことがあります。そうならないためには、ルールを守らせる工夫が大切です。例えば、

- 目につくところにルールを貼りだしておき、話題に出すことで注意喚起をする
- ルールを守れているか、子どもと定期的に話し合う
- 子どもの様子を注意深く見守り、小さな変化も見逃さないようにする
- ルールを守れない場合は利用停止する等の約束事を決める

これらの例を参考にして、子どもとの関係を良好に保つつ、子どもが犯罪被害に遭う前に保護者による抑止対策を行っていきましょう。

パスワードの管理

保護者が自身のスマートフォンの画面ロックを解除しているのを見て、無断で保護者のスマートフォンを利用してSNSに動画を載せていたなどということもあります。

パスワードは保護者がきちんと管理し、定期的な変更を行いましょう。

また、子どもの使用するスマートフォン等の機能制限や管理機能に関するパスワードは、保護者がしっかりと管理してください。

機器の管理

フィルタリングや機能制限がかかっていない端末から、子どもが有害サイトにアクセスしてしまう可能性があります。

また、インターネットに普段つながらない機器でも、コンビニやファストフード店の無線Wi-Fiで容易にネットにつなげることができます。

保護者や兄、姉のスマートフォン、古いスマホ、共用のタブレット、ゲーム機等など家庭内でお子さんが使う可能性のあるインターネット端末を管理することが大切です。

軽い気持ちでインターネットの掲示板に張り付けた自分の写真が自分では全く想えていなかった使われ方をしてしまったり、なにげなくSNSに書き込んだひと言が大炎上したり、また、それが原因でいじめ被害に遭つてしまったり・・・

もしかしたら誰にも相談できずに一人で悩んでしまうようなことになってしまふかもしれません。

また、子どもとのコミュニケーションを図るためにも、ルール作りを徹底しましょう。

ルール作りには、保護者の協力が不可欠です！！

このプリントは、大阪府警からのお手紙を参考に作成しました。